
桜散るその道で、キミと出会った。

Misho

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桜散るその道で、キミと出会った。

【Nコード】

N4328S

【作者名】

Misho

【あらすじ】

彼女の咲と別れて5年。晃は約束の桜並木で咲の帰りを待っている。

咲^{さき}。

あれからもう5年たつね。

キミと出会えて、俺は幸せ者です。

そういえば、キミと出会ったのはこの桜並木だけ。

俺はまだキミのこと待ってるよ。

お互い、答えを見つけたら、きつと帰ってくるって

約束したね。

俺は答え、見つけた。

だから毎日、此処^{こゝ}でキミの帰りを待ってる。

今日もそうやって独り言のように呟きながら桜並木を歩く。

彼女 咲と出会ったのもここだった。

風に乗って桜の花びらが舞い、その桜の風とともに飛んだキミの帽子をつかんだのが始まりだったね。

帽子を返したときに頬を赤らめたキミを見て、俺はキミに恋をしたんだ。

キミは俺と正面から向き合ってくれて、何回もケンカして、何回も一緒に泣いた。

ある日俺らはお互いの気持ちを知った。

『あなたのことを愛しています』と。

だけど俺達には迷っていたことがあった。

それは、お互いの歩む道。

あの日中学3年生だった俺らは、広い世界への第一歩を踏み出そうとしていた。

もちろん、お互い歩む道は変わっていく。

だけど、そんなときに邪魔になったのはお互いを思う気持ちだった。

『好き』という感情が、俺らの道を減らそうとしていた。だから俺は言った。

『お互い、自分を見つけたらあの道に帰って出会おう』と。キミはその言葉に黙ってうなずいてくれたね。

そのキミの瞳にあったのは、悲しみでも怒りでもなく、希望だった。その言葉で、俺らは自由になった。

そして、2人が別の道を歩んで3年…

俺は自分を、答えを見つけた。

だからキミと出会った桜並木へ毎日出かけては、キミの帰りを待った。

だけどキミは帰ってこなくて…

そしてさらに2年がたった今日、俺はまた此処にいる。

俺らが出会った時より少しだけ大きくなった桜が、ひらひらと花びらを散らす。

あの時と同じように…

今日は帰ろうと後ろを向く。

晃てる！

懐かしい声が響く。

俺はそつと後ろを振り返った。

「きゃっ！」

花びらと一緒に空を舞う帽子をつかんで彼女に差し出す。

「おかえり」

俺はにっこりと笑って言った。

「ただいま」

キミはよく通った声で言った。

桜がつないだ俺らのココロ。

俺らは此処で出会い、此処で別れ、また此処で出会った。

1億3千万分の2。

この国で僕らは出会い、そして広い世界へ飛び出した。
だけどもまた此処へ戻ってきた。

あなたは、この奇跡を信じますか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4328s/>

桜散るその道で、キミと出会った。

2011年10月8日18時11分発行